

平成29年度 鞠智城跡「特別研究」採用者一覧

No.	名前	研究分野	所属	役職等	地域性	年齢	申請研究テーマ	申請研究概要
1	オザワヨシノリ 小澤佳憲	考古学	九州歴史資料館	文化財 専門職	九州	43	古代山城の石積み技術の研究	デジタル技術を駆使して未図化の古代山城石垣の図化を進め、資料を蓄積し、石垣の構造上の特徴を検討することから、古代山城石垣構築技術について明らかとする。また、朝鮮半島の山城との比較検討も行い、古代山城石垣構築技術の総体に迫る。
2	カネダアキヒロ 金田明大	考古学	独立行政法人 国立文化財機構	独法 職員	関西	45	高精度物理探査手法による 鞠智城広域遺構配置の把握	地中レーダー、磁気探査、電磁探査などの高精度物理探査手法を用いて鞠智城の探査を行い、手法の洗練と熊本県地域における遺跡探査の有効性を確立し、今後の鞠智城の研究及び公開に寄与できる基礎資料を提供する。
3	ホリウチカズヒロ 堀内和宏	古代史	長崎県教育庁 新幹線文化財 調査事務所	文化財 専門職	九州	35	東アジア世界との海域交通と 肥後・肥前地域の地理関係か ら見た鞠智城の研究	肥前と肥後に関わる六国史の記述を分析することから、7世紀後半の対外的な緊張を背景として、律令制下でどのような軍事・行政組織が西海道の交通を前提に構築されたかを明らかにする。その中で、古代の鞠智城の姿を新たな視点から明らかとする。
4	ヤマダタカフミ 山田隆文	考古学	奈良県立橿原 考古学研究所	文化財 専門職	関西	45	古代山城の立地環境 —百済・新羅との比較を通して—	鞠智城をはじめとする古代山城の立地環境について、百済の「五方城」および統一新羅の「九州五小京」の立地環境と比較研究を行うことから、相互の影響の有無について明らかにする。

※五十音順